

かとうぜきかいらんばん 可動堰回覧板

平成27年3月1日号 (No116)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

可動堰改築工事の歩み その1 (堰本体完成まで)

昭和6年に完成した旧可動堰は、長きにわたり越後平野の安全安心を確保する要の施設として活躍しました。しかし、完成以降上流の河川改修が進み、可動堰地点の流下能力は、小千谷よりも下流区間で最も不足している地点となり、また、洪水時には右岸堤防へ水あたりが集中していたことに加え、可動堰自体の老朽化も著しく、安全性が大きく低下していました。このような背景から、新しい可動堰を建設するための改築事業が平成15年よりスタートしました。

本事業では、旧可動堰に比べ河床を下げ、低水路幅を広げた新可動堰を建設することで流下能力の向上を図るとともに、右岸側に寄っていた低水路を河道中央部へ移設することで右岸堤防の強靱化を図りました。

遮水工・仮締切工



遮水工



仮締切工

本体工事に先立ち、鋼矢板により仮締切をつくり、流水が施工ヤードの中心に浸入することを防ぎました。さらに施工ヤードに地下水が浸透してこないように、深さ30m程度の地中壁をつくる遮水工を設置しました。

土砂掘削



掘削した土砂は右岸の高水敷造成の他、信濃川下流の築堤工事や分水さくら公園の盛土工事及び近隣の圃場整備工事などに利用されました。

基礎工



本体をささえる基礎には、約1500本の鋼管杭(径800mm~1100mm)を打込みました。

コンクリート打設



本体の生コンクリートは、低発熱セメントを使用し、ひびわれ防止に努めました。

護床工



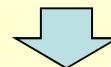
洗掘防止の目的で河川構造物の上下流に設ける施設で、河川伝統工法の粗朶沈床を採用しています。

工事現場の全景

事業着手前



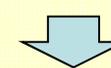
H14.9撮影



堰本体部の掘削



H19.5撮影



本体堰柱、管理橋等の施工



H22.5撮影

※裏面につづく

管理橋



堰を管理するために必要な「管理橋」は、工場で小割りにつくられた鋼製の桁を陸路で現場へ運搬し、現場内で一部を組み立てた後に、200tの大型トラッククレーンで架設を行いました。

ゲート工



可動堰で採用されているラジアルゲートは長さ40m、幅12mもあり、国内最大規模です。一門を8分割にし、工場から運搬、現地にて組み立てました。



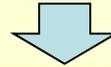
ゲート完成

工事現場の全景

ゲート設備の施工



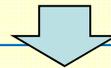
H23.3撮影



仮締切の撤去



H23.9撮影



次号へつづく

珍しいカモ「アカツクシガモ」が来ています

大河津分水路には、マガモ、オナガガモなどのたくさんの冬鳥が飛来しています。今年はその中にとっても珍しいカモが仲間となりました。

この珍しいカモは頭が白っぽく、体はキツネのような明るい茶色をした「アカツクシガモ」です。朝鮮半島などの大陸で越冬することが一般的であるため、日本への飛来することはとても珍しいとのこと。たくさんいるカモ類の中に1羽だけ紛れており、仲間がいないためか群れから少し離れていることが多く、ちょっと寂しそうです。

また、白い顔に目の周りが黒くパンダのような模様をした「ミコアイサ」も大河津分水路で見られます。茶系の色が多いカモ類の中で白い体は非常に目立つため、容易に見つけることができます。

野鳥は警戒心がとても強く、近づくと一斉に飛び立ってしまうことがあるため、観察には大河津資料館4階の展望フロアや大河津出張所屋上がおおすすめです。



とっても珍しい「アカツクシガモ」



通称パンダガモといわれている「ミコアイサ」

大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧ください。また、バックナンバーも合わせてご覧ください。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeiki/>」です。
『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。
0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121

大河津出張所

:大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

信濃川河川事務所
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeiki/>

信濃川大河津資料館
<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>